

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公開番号】特開2015-122948(P2015-122948A)

【公開日】平成27年7月2日(2015.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-042

【出願番号】特願2014-255676(P2014-255676)

【国際特許分類】

H 0 2 P 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 P 9/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月6日(2017.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転機械を検査するためのシステムであって、

前記回転機械によって駆動されるシャフト(12、13)に連結された可変負荷(11)と、

前記可変負荷(11)の負荷値における変化が、前記回転機械によって生成される電力に変化を引き起こすように、閉ループ内の前記回転機械および前記可変負荷(11)を調整するように構成されたコントローラ(10)と、を備え、

前記コントローラ(10)は、さらに、前記回転機械によって生成される前記電力と前記可変負荷によって消費される電力とが均衡するのに要する応答時間を前記シャフト(12、13)の回転速度の導関数がゼロになる時に基づいて決定するように構成される、システム。

【請求項 2】

前記コントローラ(10)は、さらに、前記可変負荷(11)の前記負荷値の前記変化を制御するように構成される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記回転機械に動作可能に連結されたセンサ(18)をさらに備え、前記センサは、前記シャフトの回転速度を測定するように構成され、前記コントローラは、さらに、前記測定された回転速度に基づいて、前記回転機械によって生成される前記電力と前記可変負荷によって消費される前記電力とが均衡するかどうかを決定するように構成される、請求項 1 または 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記可変負荷(11)は、圧縮機であって、前記可変負荷圧縮機の入口を通る空気流を調整するように構成された少なくとも 1 つの調整弁(15)を備える圧縮機を、備える、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 5】

前記コントローラ(10)は、さらに、前記可変負荷(11)の前記負荷値の前記変化を制御するための前記少なくとも 1 つの調整弁(15)を調整するように構成される、請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記コントローラ(10)は、前記少なくとも1つの調整弁(15)の設定と、前記可変負荷の対応する負荷値とを記憶する圧縮機負荷マップを備え、

前記圧縮機負荷マップは、さらに、前記シャフト回転速度の対応する値を記憶する、請求項4に記載のシステム。

【請求項7】

前記可変負荷は、回路遮断器(26)を介して抵抗型負荷(25)に連結されたオルタネータ(24)を備え、

前記コントローラは、さらに、前記オルタネータによって提供される測定された電流に基づいて、前記回転機械によって生成される前記電力と前記可変負荷によって消費される前記電力とが均衡するかどうかを決定するように構成される、請求項1乃至6のいずれかに記載のシステム。

【請求項8】

前記可変負荷は、回路遮断器(22)を介してモータ(21)に連結されたオルタネータ(20)を備え、前記モータは、機械的負荷(23)を駆動するように構成される、請求項1乃至7のいずれかに記載のシステム。